



新居浜市一宮町一丁目5番1号 学校教育課
tel (0897) 65-1301

小・中学校の運動会も終了し、いよいよ秋本番となってきました。今回は先に行われたESD推進事業協議会の報告や夏季休業中に実施された各研修会の様子をお知らせいたします。

第2回ESD推進協議会報告

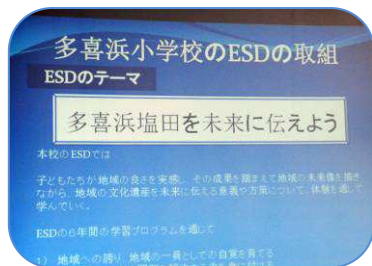


- 1 日時 平成28年9月9日(金) 15:00~16:30
- 2 場所 新居浜市役所4階 41会議室
- 3 参加者 近森憲助(鳴門教育大学特命教授)、竹内よし子(えひめグローバルネットワーク代表)、木村英理子(学校図書館支援員)、常川真由美(四国EPO所長)、高橋良光(教育委員会事務局次長)、玉井広志(愛媛県総合科学博物館学芸課長)、早瀬伸樹(新居浜工業高等専門学校教授)、福西哲唯(新居浜ユネスコ協会事務局)、日野優子(小学校校長会ESD担当)、原恭介(瀬戸内みらいづくり研究所長)、高橋正弥(学校教育課長)、坂本睦美(学校教育課)、森本芳樹(学校教育課)、井上美樹(ESD担当指導主幹)
- 4 主な協議内容
 - 1学期中の推進事業進捗状況を説明した。多方面からESDの優れた実践者を研修会講師として招くことにより、充実した研修会となっている。ESDカレンダーを取り入れた授業実践のすばらしさに触れ、教科学習にESDをどのように取り入れるかに関して理解が進んだ。また、講演会において、ESDを地域に広げるためには、地域と学校の課題が共通していることが重要であることについての認識も高まった。一方で課題も見えてきた。特に中学校において教科間でESDの取り入れ方に差が見られるので、研修会の内容を工夫していく必要がある。また、各種研修会に参加した教員が研修で得た成果を共有するためにはHPを整備するなどの方策を検討すべきとの意見が出た。
 - ESDワーキンググループの設立により、若手の教員を推進者として養成していく場ができ、ESDの視点を盛り込んだ授業の進め方のすそ野が広がってきた。来年度は小・中学校別に行うことも検討していく。
 - 学校図書館の活用においては、昨年度実施した学校訪問が各学校でどのように生かされているか検証したいとの意見が出た。
 - 鳴門教育大学との交流は10月以降に防災学習等で実施していきたい。また、大学の協力のもと、今年度事業の評価の一環として、ESDアンケートを実施していく。
 - えひめグローバルネットワークや環境省四国EPOでは現在「地方ESD活動支援センター(仮称)」の設立に向け、準備を進めている。新居浜市として、どのように関わっていけるかを考え、四国におけるESD推進の面的な広がりを目指していく。
 - ユネスコ協会では、地域の産業遺産の保存に向け、多喜浜塩田の学習会を実施している。また、愛媛県総合科学博物館では、「地震をさぐる」等の企画展の実施や出前講座を実施している。新居浜工業高等専門学校でも小学校との交流等を通して、地域との連携を図っている。
 - 惣開小学校からは、文部科学省の委託事業として「ESD重点校形成事業～輝け!サスティナブルスクール～」に応募し、採択されたとの報告があった。今後、惣開小学校の取組を他の学校に広め、ESDの深化を図っていきたい。

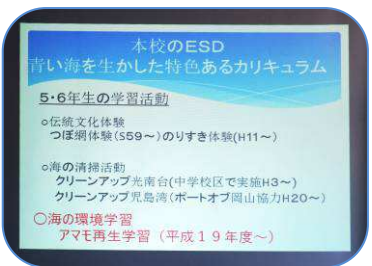
今回より、地域で環境教育に関わっている方にもご参加していただくなど、さまざまな立場の方から、ご意見を伺え、大変有意義な会となりました。お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございました。

横浜市ESD夏季研修会にて

平成28年8月26日（金）、横浜市八景島シーパラダイスにおいて実施されたESD夏季研修会に本市より小学校教員5名と担当指導主幹が参加しました。環境省より依頼を受け、多喜浜小学校 丸山由香利教諭が実践事例の発表を行いました。「多喜浜塩田を未来に伝えよう」をテーマに塩田学習の様子が報告されました。地域の産業遺産である塩田文化に児童が関心をもち、伝えていくことが地域の持続性を高めていくことに繋がっていることを再認識しました。北は宮城県気仙沼市から南は鹿児島県屋久島町まで全国の小学校でのESD事例発表が聞け、大変参考になりました。また、会場となった八景島シーパラダイス「うみファーム」を見学し、東京湾の生きものや環境について、飼育員によるレクチャーを含めた体験型プログラムにも参加できました。さらに2015年国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」をゲームで体感するワークショップもあり、2030年の世界をイメージして、世界を変えるための17の目標について考える機会となりました。今後本市においてもSDGsを研修していく必要性を感じました。



多喜浜小学校の発表より



岡山市立小串小学校の発表より



体験施設「うみファーム」

第2回ESDワーキンググループ会議より

- 1 日時 平成28年8月29日（月）9：30～16：30
- 2 場所 新居浜市役所5階 53会議室
- 3 講師 鳴門教育大学 特命教授 近森 憲助
えひめグローバルネットワーク代表 竹内 よし子
- 4 参加者 ESDワーキンググループ班員
惣開小学校教諭 青野真奈 神郷小学校教諭 金山明弘
垣生小学校教諭 高橋里奈 泉川中学校教諭 越智誠司
川東中学校教諭 矢野誠治 担当指導主幹



ワークショップの様子

- 5 主な研修内容
 - 過去にESD大賞を受賞した学校の実践事例に学ぶワークショップを行った。資料で取り上げられている学校の実践で特に優れていると思われる点について意見交換しながらまとめた。
 - ワークショップの成果として、活動内容ではなく、子どもに培いたい能力をESDの視点を踏まえて設定することと、ユネスコスクール活動に関わる様々な「つながり」を意識し、ESDカレンダーなどを活用して、その「つながり」を可視化すること、という2点が特に重要であることが共有できた。

夏季休業中ということもあり、終日かけてじっくりと研修を行うことができました。講師の先生お2人と班員同士の親睦も深まり、和気あいあいとしたムードの中、研修が進んでいます。今回学んだことを自校の実践に生かす研修を第3回では予定しています。